

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 25 週分・6 月 16 日～6 月 22 日)

■今週の主な動向

○伝染性紅斑の報告数が多い状況が続いています。

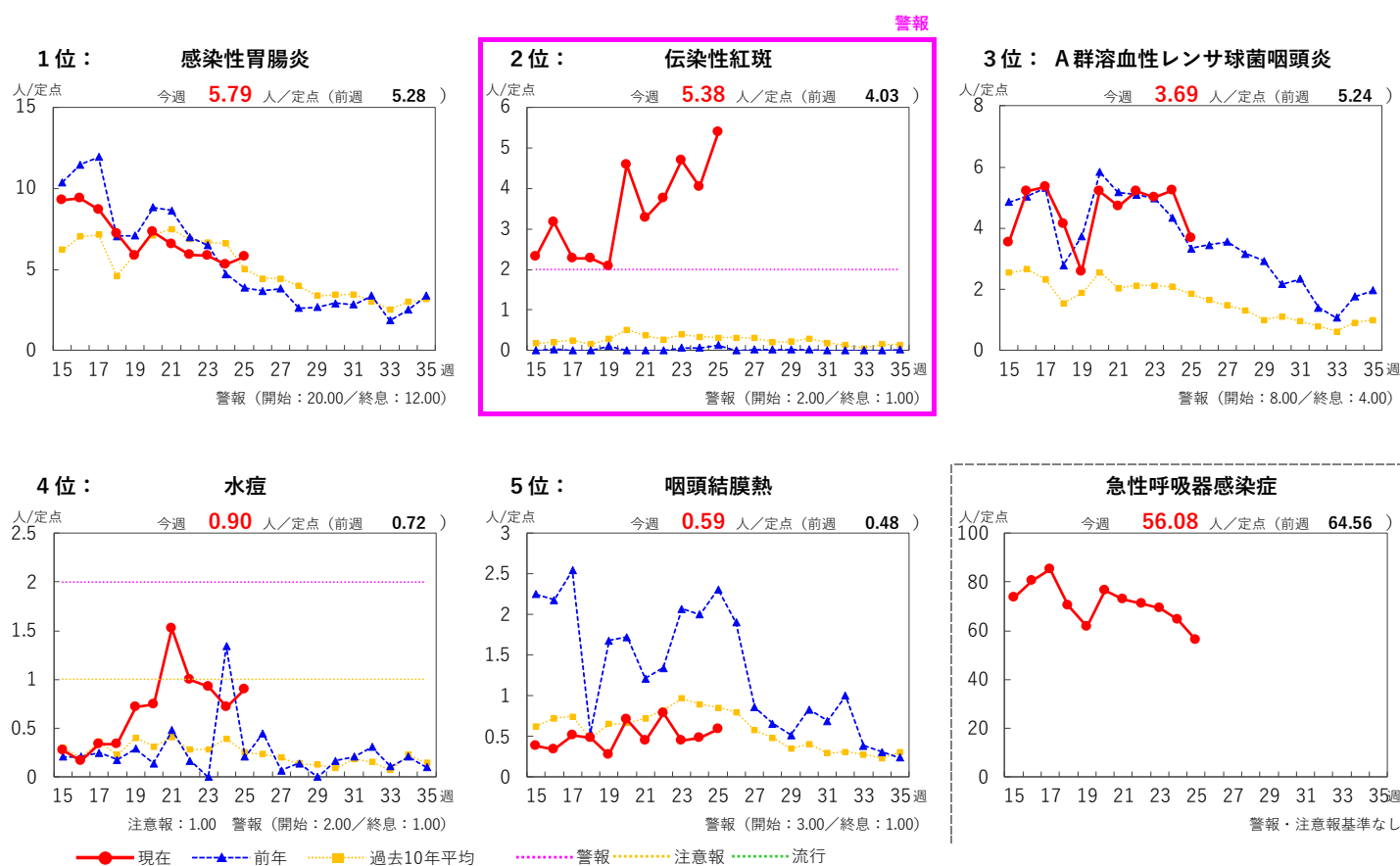
伝染性紅斑の報告数は、第 15 週から警報開始基準値（2.0 人/定点）を超えた状況が続いています。妊婦が感染すると流産等の原因になることがあるので注意が必要です（[第 17 週インフォメーション参照](#)）。

○百日咳の患者が今週 26 例（2025 年累積 363 例）報告されました。

10～14 歳の小学校高学年～中学生を中心に百日咳患者の報告が続いています。乳児（特に新生児や乳児早期）では重症化しやすいことから、同居する家族からの感染には注意が必要です（[第 23 週インフォメーション参照](#)）。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症（第 25 週・6/16～6/22）

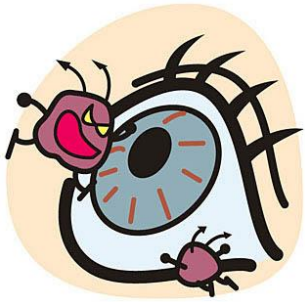


厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 2 件 (①50 歳代、女性 ②80 歳代、男性)
 四類感染症 レジオネラ症 1 件 (80 歳代、女性、肺炎型)
 五類感染症 急性脳炎 1 件 (70 歳代、男性)
 水痘 (入院例) 1 件 (40 歳代、男性)
 梅毒 2 件 (①②共に 30 歳代、男性 ①早期顕症梅毒Ⅰ期 ②無症候)
 百日咳 29 件 (①～③全て第 24 週診断分、男性 ①10 歳未満 ②③共に 10 歳代
 ④⑤共に 10 歳未満、男性 ⑥～⑪全て 10 歳未満、女性 ⑫～⑰全て 10 歳代、男性
 ⑱～⑳全て 10 歳代、女性 ㉑30 歳代、男性 ㉒60 歳代、女性 ㉓70 歳代、女性)





咽頭結膜熱と流行性角結膜炎に ご注意ください！

《 インフォメーション 》

●咽頭結膜熱・流行性角結膜炎

咽頭結膜熱および流行性角結膜炎は、いくつかの型のアデノウイルスによって引き起こされる急性感染症です。

咽頭結膜熱（小児科定点把握疾患）は小児に多く、5～7 日の潜伏期間の後に、発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、咽頭痛、結膜の充血、目やにといった症状が3～5 日間程度持続します。眼に永続的な障害を残すことはありません。

一般的には夏季に流行がみられますが、2023/24 年の冬季から 2024 年の初夏まで報告数増加が続きましました。今年の県内の患者報告数は、例年と同程度で推移しています（上図）。

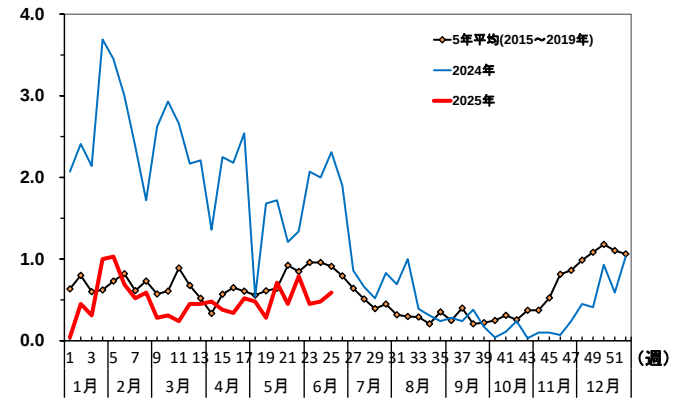
流行性角結膜炎（眼科定点把握疾患）も小児に多い疾患ですが、成人を含む幅広い年齢層でみられます。1～2 週間の潜伏期間の後に、結膜の充血、まぶたの浮腫、目やに、涙、眼痛などの症状が出現します。角膜に炎症が及ぶと、透明度が低下し、まぶしさや見えにくさを感じるようになりますことがあります。角膜の混濁が長く残ることがあり、視力低下をきたすこともあります。

本疾患の流行は夏に多い傾向があります。県内では、2024 年の第 16、17 週に一過性の報告数増加がみられ、第 48 週以降年末にかけても報告数が多くなりました。今年の県内の定点医療機関からの報告数は、例年と同程度か少ない状況で推移しています（下図）。

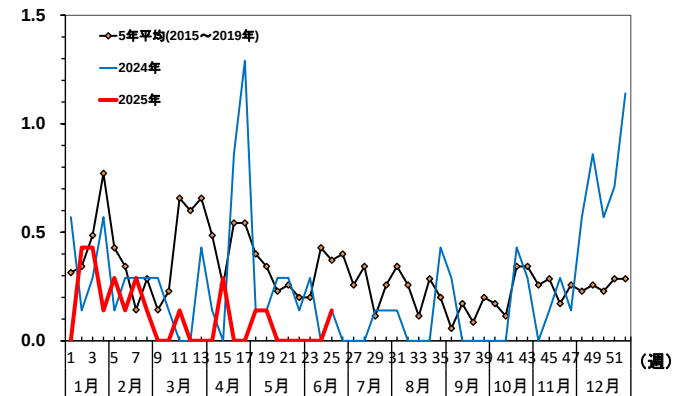
アデノウイルスに有効な治療薬はありません。そのため、両疾患の治療は対症療法になります。眼症状に対しては、抗炎症剤の点眼と、細菌の複合感染に対する予防と治療のために抗菌剤の点眼を行うことがあります。また、アデノウイルスは感染力が強く、患者が触れたものを介して感染する接触感染や、飛沫感染により広がります。次の事項に注意して、家庭内や施設内での感染を防ぎましょう。

- ✓ 流行時には石鹸と流水で手を洗う頻度を高める。
- ✓ タオルやハンカチ、点眼薬などの共用は行わない。
- ✓ おもちゃや食器等を消毒する際はアルコールが効きにくいいため、煮沸、塩素消毒等を行う。

咽頭結膜熱報告数の推移(富山県)



流行性角結膜炎報告数の推移(富山県)



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第25週 2025年6月16日～2025年6月22日）

分類	疾患	今週報告分（第25週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核				2	2	5	1	9	6	31	52	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く				2	2	4		6	5	18	33	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症							1	1			2	
	四類感染症	E型肝炎									3		3	
		A型肝炎								1	1		2	
		デング熱									1		1	
		レジオネラ症					1	1		1	2		5	8
	五類感染症	アメーバ赤痢									1		1	2
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									4		5	9
		急性脳炎				1		1			1	1		2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2		4	7
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）											1	1
		ジアルジア症											1	1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	2	2	6
		侵襲性肺炎球菌感染症							5		8	3	11	27
		水痘（入院例）	1					1	1		1			2
		梅毒				1	1	2	2	1	3	1	12	19
		百日咳	3	7	4		12	26	20	71	69	16	187	363
	風しん										1		1	
急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	192	207	955	216	1,122	2,692	3,537	3,295	12,328	2,855	15,226	37,241	
		27.43	41.40	73.46	30.86	70.13	56.08							
	インフルエンザ			1		1	2	928	853	1,649	975	1,876	6,281	
				0.08		0.06	0.04							
	COVID-19	5		3	4	6	18	838	335	932	631	807	3,543	
小児科定点（29定点）		0.71		0.23	0.57	0.38	0.38							
	R Sウイルス感染症		1			2	3	27	23	110	37	176	373	
			0.33			0.20	0.10							
	咽頭結膜熱		1	15		1	17	58	26	215	3	54	356	
			0.33	1.88		0.10	0.59							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	3	30	9	61	107	103	213	1,134	159	1,559	3,168	
		1.00	1.00	3.75	2.25	6.10	3.69							
	感染性胃腸炎	37	15	27	8	81	168	689	500	1,281	421	3,226	6,117	
		9.25	5.00	3.38	2.00	8.10	5.79							
	水痘		8	1		17	26	3	41	29	15	230	318	
			2.67	0.13		1.70	0.90							
	手足口病	1		4	2	2	9	2	2	20	3	13	40	
		0.25		0.50	0.50	0.20	0.31							
	伝染性紅斑	3	18	38	14	83	156	59	168	496	66	657	1,446	
		0.75	6.00	4.75	3.50	8.30	5.38							
	突発性発しん		1	7	4	2	14	3	12	69	18	60	162	
			0.33	0.88	1.00	0.20	0.48							
	ヘルパンギーナ			1		3	4	16	1	9	1	14	41	
				0.13		0.30	0.14							
流行性耳下腺炎	1		1	1	1	4	2	8	6	7	13	36		
	0.25		0.13	0.25	0.10	0.14								
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									4	95		99	
基幹定点（5定点）	流行性角結膜炎					1	1	1		15	1	2	19	
					0.50	0.14								
	細菌性髄膜炎										1		1	
	無菌性髄膜炎				1		1				1		1	
入院サーベイランス（5定点）				1.00		0.20								
	マイコプラズマ肺炎							14	7	19	17	4	61	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									5			5	
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							56	21	46	68	51	242	
	COVID-19による入院患者							74	68	51	112	182	487	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考： <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/> ）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。